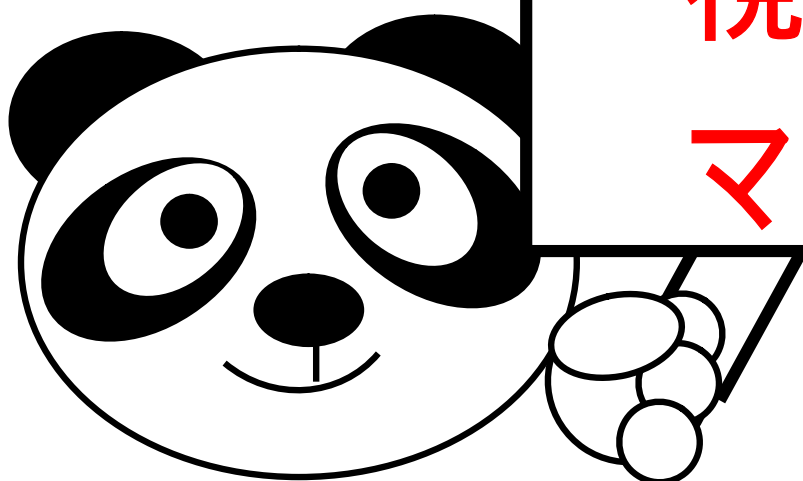




# パンダの 視能訓練 マニュアル



# 視能矯正・訓練の計画順序

\* 網掛け下線は視能学掲載 (破線矢印は複数の訓練に適応なもの)  
 \* ( )の番号は訓練のフローチャートの番号

## の前に偏心固視矯正訓練

偏心固視を矯正する訓練  
 以前は上記と判明したら訓練を行ったが現在は殆ど行われない。

- 中心窩刺激法: 眩惑刺激法 (Bangeter 法) (1)
- 残像法: (Cüppers 法) (2)
- プリズム矯正法 - 逆プリズム法 (3)

## 弱視視能訓練

弱視眼の視力を向上させる訓練  
 弱視眼の視力が向上すれば抑制除去訓練と並行して行う場合もある。

- 光学的視能矯正
  - 完全矯正眼鏡 (4)
  - ペナリゼーション法 (6) (不完全遮閉とも言える、薬剤も使用するが主に不完全遮閉が目的であり、光学的視能矯正となる)
  - 完全遮閉法 (アイパッチによる方法など)
  - 不完全遮閉法 (薬物による方法)
    - 健眼アトロピン遮閉法 (7)
    - Moore法、Johnson法、Moore Johnson(石川)変法 (8)
- 遮閉法 (5)
- 家庭訓練法
  - 赤鉛筆法 (字ひろい訓練など) (9)
  - 赤フィルタ使用法 (10)
  - プリズム利用法 (11) 過矯正プリズム法 (28)
  - 生理的複視 (認知) 訓練法 (12)
- 固視訓練
- 薬理的視能矯正法
  - 向精神神経薬 (アモバルビタールなど)

## 単眼固視訓練

視的環境を整える訓練  
 弱視がない場合はここからスタート。

- 赤フィルタ使用法 (10)
- プリズム利用法 (11)
- 生理的複視 (認知) 訓練法 (12)

## 抑制除去・同時視訓練

ARCの疑い、又は判ったらすぐに  
 NRCになったら再度の必要と考えられる検査からスタート。

- 遮閉法 (5)
- 複視感知訓練法
  - 赤フィルタ使用法 (10)
  - プリズム利用法 (11)
  - 生理的複視 (認知) 訓練法 (12)
  - 大型弱視鏡を使用する方法 点滅法 (17)
- 視能訓練法
  - 生理的複視 (維持) 訓練法 (13) 生理的複視認知訓練は、抑制がなく左右眼のFとFとで融像していないと起こらないのでその確認になる。
  - flashing method (14)
  - 大型弱視鏡を使用する方法
    - 交叉(差)法 (15)
    - 動的両眼網膜刺激法 (16)
    - 点滅法 (複視感知訓練 同時視訓練) (17)
    - 振動法 (18)
    - 出し入れ訓練法 (19) これは複視を出すので眼位未矯正で
    - 追跡訓練法 (追いかけ練習) (20)
    - 側方移動法 (21)
- 家庭訓練法
  - カイロスコープ (33)
  - 赤フィルタ使用による鉛筆法 (9)

## 対応異常矯正訓練

異常対応  
 網膜対応の異常の矯正訓練の Burian の4原則  
 正常な対応点に同時等量刺激 視能学 P395  
 交代遮閉法  
 プリズム療法  
 斜視手術  
 視能訓練

対応欠如  
 基本的に訓練不要 (眼位矯正のみで可)、NRC が勝つ!

二重対応

- 治療法
  - 1. 交代遮閉法 (5)
  - 2. プリズム矯正法 - 中和プリズム法 (22)
  - 3. 手術法
- 訓練法
  - 大型弱視鏡を使用する方法
    - 残像を利用する方法 (23)
    - 残像と実像の併用法 (残像認知訓練法を含む) (24)
    - 実像による方法
      - 交代点滅法 (17)
      - 両眼黄斑部領域の刺激法 (25)
      - 動的両眼網膜刺激法 (16)
      - Pemberton法 (再定位法・自己受容法) (26)
      - Haidinger's brushesを利用する方法 (27)

複数の訓練に適応

## 融像訓練

大型弱視鏡を使用する方法  
 線条メガネを利用する方法  
 プリズムを利用する方法  
 家庭訓練法

- 動的両眼網膜刺激法 (16)
- 融像分離結合訓練法 (29)
- 追跡訓練法 (追いかけ練習) (20)
- 融像幅増強訓練法 (30)
- 融像側方移動訓練法 (31)
- 融像側方移動訓練法 (31)
- (32) 融像固定訓練法 fusion lock training
- 融像幅増強訓練法 (30)
- prism adaptation test (24. 網膜対応検査) 参照
- カイロスコープ (33)
- 棒読書器 (34)
- テレビジョンマスク (35)
- 輪とおし (36)
- ピース通し (37)
- 実体鏡 (38)
- 生理的複視 (physiological) カード・3点カードを利用する方法 (12)

## 立体視獲得訓練

基本的に訓練不要 (日常視空間で融像できていれば OK)。自然についてくる。不可能ならカイロスコープの立体視用スライドを!!

## 眼球運動訓練

- 健眼遮閉法 (5)
- 速筋系の眼球運動訓練法 (39)
- 徐筋系の融像運動訓練法 (32)
- MUSCLE (Muskel) TRAINER (40) (融像性) 輻湊増強訓練法
- 凹レンズによる方法 (41)
- 輻湊近点 (42)
- プリズムを利用する方法 (融像幅増強訓練法) (30)
- 大型弱視鏡を使用する方法 (融像幅増強訓練法) (30)
- Jump convergence 訓練法 (43)
- 生理的複視 (physiological) カード・3点カード・convergence カードを利用する方法 (12)
- convergence (konvergenzコンベルゲンツ) Trainer (44)
- ステレオカード訓練法 (45)
- ランダムカード訓練法 (46)
- ピース通し (37)

## 補足

### 駿河台日大病院の方法

- 抑制除去訓練 (補足 1)
- 日大 Jump convergence 訓練 (補足 2)
- 赤フィルタによる輻湊近点訓練 (補足 3)
- 鉛筆による生理的複視訓練 (補足 4)
- Framing card 訓練 (補足 5)
- 3点カード訓練 (補足 6)
- ステレオカードによる輻湊訓練 (補足 7)
- base out プリズムによる後退法 (補足 8)

## 補足

### 近大病院のXPTの訓練

- Flashing method (14)
- Jump convergence 訓練 (補足 2)
- ピース通し (37)
- 3点カード訓練 (補足 6)
- 鉛筆による生理的複視訓練 (補足 4) (26. 抑制検査補足) 参照
- Framing card 訓練 (補足 5)
- cat カードによる輻湊訓練 (補足 7)
- base out プリズムによる輻湊訓練 (補足 8)

訓練は効果が重なっていることが多く、クリアに分けられないし、著者によって分け方も違うので困るなあ。なるべく視能学に準じることにしました。

